

# 私の挑戦

266

相模原市 廣瀬宗彦さん

相模原市南区麻溝地区

で農業を営む廣瀬宗彦さん(34)。約2分の畑でニンジンやサツマイモなど約20種類を栽培している。兵庫県に生まれ、大学進学を機に上京。会社勤めを経験し、自分探しのための北海道一周旅で見た大自然に感動し、自然と共に歩む農業に興味を持ち就農を志した。

川崎市内の農園では露地野菜の栽培技術を学んだ。経験を積む中で自然の力を生かした野菜作りに興味を持ち、有機栽培



ニンジンを収穫する廣瀬さん

## 有機野菜魅力広める

と出会う。新たな学び舎(や)を探し始め、2022年3月末まで愛川町の農業法人で有機栽培の基礎を学び、翌月に独立。経験を生かすためにこれまでの研修先と気候が似ている相模原市で就農した。栽培期間中は農薬を使用せず、緑肥によって化学肥料を削減した

加入。先輩との情報交換は大きな原動力となっている。「先輩方の存在はとても偉大だ」と話す。同JA営農経済部職員の手助けを受けて販路開拓にも力を入れている。収穫した野菜は市内の量販店や相模原市主催の「さがみはら市民朝市」へ出荷。廣瀬さんの野菜が目当ての来店客も増加中だ。今後は市内中学校の給食用に出荷を計画している。

廣瀬さんは「分からないことが多いが、毎日楽しみながら栽培している。一緒に有機栽培に取り組む仲間や妻をはじめ、支えてくれる仲間のためにも『相模原の野菜はおいしい』と言われる環境をつくりたい」と意気込む。(相模原)